-村幸四郎 -村寅太郎 原山 本 信 監修

全10巻

第8回配本 | 2019年11月予定

論理学

澤口昭聿=訳

本体10000円+税 416頁

ライプニッツ生涯の企画書といわれた「結合法 論」、「普遍的記号法の原理」「概念と真理 の解析についての一般的研究」など、普遍学 構想の基盤となる記号論理学の形成過程を 追う。

2 第6回配本 2019年7月予定

数学論·数学

原 亨吉+佐々木 力+三浦伸夫+馬場 郁+ 斎藤 憲+安藤正人+倉田 隆=訳·解説 本体12000円+税 400頁 「普遍数学」の思想的背景から微積分学の創 始、ホイヘンスやニュートンとの交渉まで、数学精 神のダイナミズムを編む。「数学の形而上学的基

第5回配本 | 2019年5月予定

礎」「無限算へのアプローチ」など。

数学·自然学

原 亨吉+横山雅彦+三浦伸夫+馬場 郁+ 倉田 隆十西 敬尚+長島秀男=訳 本体17000円+税 624頁 幾何学、代数学にわたる主要業績をはじめ、 デカルトを超える動力学の形成プロセス、光学 などの自然学論考を集める。「すべての数を1と 0によって表わす驚くべき表記法」ほか。

4 第2回配本 2018年11月予定

認識論[人間知性新論·上]

谷川多佳子+福島清紀+岡部英男=訳 本体8500円+税 344頁 イギリス経験論の主柱、ジョン・ロックに対して、 生得観念、無意識をもって反攻を開始する。 第1部「生得観念について」、第2部「観念に ついて」。

第2回配本 | 2018年11月予定

認識論[人間知性新論・下]

谷川多佳子+福島清紀+岡部英男=訳 本体9500円+税 392頁 ロックの代弁者フィラレートとライプニッツの代弁 者テオフィルの対話は、、、よ、よ認識論的確証 の佳境に入る。第3部「言葉について」、第4部 「認識について」。



多岐にわたる主要著作を総合的に編み、1999年に完結 論理学、数学、科学、哲学、宗教から中国学まで

第35回日本翻訳出版文化賞を受賞した著作集を順次復刊します。

パロックの哲人の普遍的精神の全容を精選・翻 た本邦初、 Aufürllichen Lich

期

6 第4回配本 2019年3月予定

宗教哲学[fiphairt]

佐々木能章=訳

本体8200円+税 352頁

ライプニッツの聡明な弟子にして有力な庇護者 ゾフィ・シャルロッテの追想のために刊行された 一書。神の善性、人間の自由、悪の起源につ いての論証。

第4回配本 2019年3月予定

宗教哲学[并神論・下]

佐々木能章=訳

本体8200円+税 356頁

「なぜ神はこの世界に悪の侵入を許したのか?」 当時の流行思想家ピエール・ベールの懐 疑論を予定説をもって論駁。別冊ラテン語文 「弁神論」も収録。

第1回配本 | 2018年9月予定

西谷裕作+竹田篤司+米山 優+佐々木能章+ 酒井 潔一訳 本体9000円+税 448頁

「表出」の哲学を開示した「形而上学叙説」、 「アルノーとの往復書簡」を軸に、1702年までの 小品を収録。「認識、真理、観念についての 省察」、「唯一の普遍的精神の説についての 考察など。

9 第7回配本 2019年9月予定

後期哲学

西谷裕作+米山 優+佐々木能章=訳 本体9500円+税 456頁 ライプニッツ哲学のエッセンス「モナドロジー」を はじめ、ニュートンの代弁者クラークとの最晩

年の論争まで、自然学と不可分の思想を編成。 「理性に基づく自然と恩寵の原理」ほか。

10 第3回配本 2019年1月予定

中国学·地質学·普遍学

山下正男+谷本 勉+小林道夫+松田 毅=訳 本体8500円+税 336頁

イエズス会神父から得た「最新中国情報」、易 のシステムに自ら創案した2進法を重ね合せた 論考、普遍学へのプログラム、

近代地質学の嚆矢となった 「プロトガイア」など。







1

哲学書簡[知の綺羅星たちとの交徹]

山内志朗+増山浩人+伊豆藏好美+上野 修+町田 一+朝倉友海+根無一信+清水高志+梅野宏樹+谷川多佳子+池田真治+谷川雅子+大西光弘+橋本由美子+山田弘明=訳ISBN978-4-87502-463-7本体8000円+税 448頁+手稿8頁2015年5月刊行

スピノザ、ホッブズら哲学者、ハノーファー選帝 侯妃ゾフィー、ゾフィー・シャルロッテ母娘ら貴婦人と交わした膨大な書簡を精選し、バロックの哲人の思想形成プロセスや喜怒哀楽を甦らせる。



2

法学·神学·歷史学

[共通善を求めて]

酒井 潔+長網啓典+町田 一+川添美央子+ 津崎良典+佐々木能章+清水洋費+福島清紀+ 枝村祥平+今野諒子一駅 ISBN978-4-87502-477-4 本体8000円+税 452頁+手稿8頁 2016年9月刊行

正義とは? 幸福とは? 史実とは? 世界を善き方向に変えるために生涯宮廷顧問官として活躍した哲人ライブニッツ。正義や宗教的平和についての省察、歴史学の方法論など、社会へのまなざしを追う。



〒169-0072

東京都新宿区大久保2-4-12

新宿ラムダックスビル<u>12</u>F

tel **►** 03-5155-8940

fax ► 03-5155-8941

www.kousakusha.co.jp saturn@kousakusha.co.jp

酒井 潔+佐々木能章 ――監修



全3巻



ゴットフリート・ヴィルヘルム・フイプニッツ Gottfried Wilhelm Leibniz(1646–1716)

アカデミー設立、カトリックとプロテスタント両教会の融和統一などに尽力。顧問官としてパーファー家の系譜の歴史的探究、7年以降は外交使節としてパリ、ロンドンを巡り、オランダではスピノザと会見、72年以降は外交使節としてパリ、ロンドンを巡り、オランダではスピノザと会見、アルトドルフ大学で法律を学び、1670年マインツ侯国の法律顧問官となる。



3 技術・医学・社会システム

[豊饒な社会の実現に向けて]

佐々木能章+稲岡大志+大西光弘+池田真治+ 長綱啓典+松田 毅+酒井 潔+中山純一+ 津崎良典+高田博行+林 知宏+山根雄一郎+ 上野ふき+藤井良彦=訳 ISBN978-4-87502-494-1 本体900円+税 528頁+手稿8頁 2018年6月刊行 計算機発明から保険・任会システム。アカラ

計算機発明から保険・年金システム、アカデミー計画まて、「理論を伴う実践」を生涯のモットーとしたライブニッツの多方面にわたる提言が、300年の時空を超えて明かされる。